

ゆるっと

主な内容

P1…山西小学校4年生水田除草応援隊

P2…4月～6月活動報告

P3…4月～6月活動報告

P4…夏祭り・各種イベント露店承ります他

e-mail:tanpopo-happy3232@opal.plala.or.jp



山西小学校4年生 水田除草応援隊!

7月10日(火)、たんぽぽハウスの水田に、山西小学校4年生58人が水田除草の応援に駆け付けてくれました。たんぽぽハウスの水田は、西原村小野地区の棚田に約4反ほどあり、無農薬・無肥料栽培で作り続けて今年で7年目になります。5月に仲間たちと苗づくりをし、6月22日に田植えをしました。3年前から、この時期に行っている水田除草を山西小学校4年生が手伝いに来てくれています。小学校では、田植え体験・稲刈り体験はどこでもやっていますが、水田除草体験をやっているところは無いとのことでした。今では、農薬や除草剤を使う農家が多く、骨の折れる水田除草作業はどこもあまりやらなくなりました。たんぽぽハウスの水田除草は、アルミ製の手押し式水田除草機を条間に転がし、株間は手で取ります。小さいうちの雑草は、髪を洗うように株間をジャバジャバやると浮いてきます。子供たちは横一列になって、「ジャバジャバ! ジャバジャバ!」と声を出しながら四つん這いになって元気に田圃を這い回って、「わっ、ホントだ! 浮いてきた。」と雑草が浮いてくるのを楽しみながらやっているようでした。たんぽぽハウスの水田は、農薬や化学肥料、除草剤を一切使用していません。今では、水田にカエルやオタマジャクシは勿論、沢蟹・赤腹イモリ・ゲンゴロウ・ヤゴ・ドジョウ・豊年エビなど沢山の生き物が生息しています。子供たちがそれを見逃すはずがありません。いつしかたんぽぽの生物探しに趣旨が変わってしまっていました。「わっ、赤腹イモリ!」「わっ、カエル!」「わっ、カニ!」あっちこちで子供たちの叫ぶ声が出て、もはや真面目に除草作業をしている子の方が珍しいくらいでした。毎年、同じ展開になるので予想はしていました。それでも子供たちが田圃中を縦横無尽に駆け回ることではそれなりの除草効果が得られます。子供達にとっては五感を使っている楽しい体験学習になっているようです。先生から、「生き物は、自然に返しませう!」と言われると、名残惜しそうに生き物をそっと田んぼに返している子供たちの姿がとっても印象的でした。

たんぽぽハウスの出張喫茶

5月16日(水)から22日(火)にかけて、西原村社会福祉協議会のぎく荘のデイサービスの方を相手に、今年で6回目となる「たんぽぽ出張喫茶」を開きました。社協中庭にテントを設置し、コーヒー、アイスクリームクレープ、フルーツなどを提供しました。さわやかな風の吹く中、飾られた鯉のぼりの屋外でのコーヒーは一層美味しく感じられると評判でした。1年ぶりに会うと顔を覚えておられ、会話が弾みました。初めて参加する仲間が緊張して接待していると、おばあちゃん達から「あなたは、見たことのないが、何処に住んどんななはっど？」と、優しく声を掛けられ、直ぐに打ち解けていきました。



第1回ぐまもと福祉のラウンドテーブル開催



5月19日(土)、熊本市の健康くらしさ愛工房において「第1回ぐまもと福祉のラウンドテーブル」が開催されました。発起人のNPO法人おぐさあ理事長の小笠原嘉祐氏の呼びかけにより、日本福祉大学教授の平野隆之氏の他、県内の福祉事業所、社会福祉協議会、県の福祉のまちづくり課の方々など約30人が集まり、ラウンドテーブルの名の如く、どつくばらんな意見交換会が行われました。熊本県では、地域の縁がわづくりなど地域福祉支援計画の策定・推進等を通じて、全国をリードするような福祉の取り組みが行われています。そんな方々との「つながり」を持ち、発展させていこうという趣旨のもと、各方面から様々な忌憚のない意見が飛び交い、有意義な会となりました。

堀場エステック新工場お披露目セレモニー

6月1日(金)、西原村鳥子工業団地にある分析機器メーカーの(株)堀場エステックにおいて新工場お披露目のセレモニーが開かれました。福島原発事故以来、(株)堀場製作所の作った放射線計が世間で注目を浴び、現在、業績は右肩上がりのこの企業が阿蘇工場において半導体関連精密機械製造の他、新しく医用・理化学分野製品製造工場を増設しました。このお披露目のセレモニーにおいて、西原村役場企画商工課の全面バックアップの中、西原村商工会とたんぽぽハウスにも声が掛り、露店を出すことになりました。お好み焼きやおにぎり、芋天などを出し、海外から来られたお客様にも大変喜んで頂きました。



恒例イチゴ狩り



6月2日(土)、西原村官山地区の苺農家の中村辰則さんのご厚意で、毎年出荷の終わった苺ハウスを開放して頂き、たんぽぽ関係者皆でイチゴ狩りをさせて頂いています。ハウスに入ると甘い香りが漂ってきて、出荷が終わったとは言え、真っ赤に熟した苺が沢山生っていました。仲間達は、ハウスに入ると無言になります。収穫しては口一杯に苺を頬張り、無心で収穫してしまいました。収穫した苺は皆で分け、残りの苺はその日のうちに苺ジャムや苺ソースに加工しました。「いちごいちえ」と名付けたこれらの商品は現在萌の里にて好評発売中です。



▲苺ソースと苺ジャム

阿蘇市人権・同和教育推進協議会進路保障部会講話

6月29日(金)、カルデラASSO(旧中道燐保館)において、阿蘇市人権・同和教育推進協議会の進路保障部会研修会の中で、たんぽぽハウス施設長の上村加代子氏が講話を行いました。進路保障部会とは、子供達の進路の平等な機会を保障する教育関係者で作る部会のことです。事務局の方からたんぽぽハウスの話をしてほしいと依頼があったからでした。当日、阿蘇市の小・中学校校長先生、高校進路指導担当者、学校人権教育主任など教育現場の方々約20名の方が集まりました。「たんぽぽハウスの歩み」と題して、様々な子供たちとの交流の中で、子供達が震災以来、様々なチャリティーやボランティアの中で成長し、主体的に活動する様子を発表され、集まった方々の関心を引いていきました。



たんぽぽ活動報告4月～6月

竹の子掘り

4月上旬より、竹の子掘りをスタートしました。初日はさすがに少なく、頭を出しているものはまだ少ないので、足の裏で探り探り見つけていきます。初日は、コンテナ3杯ほどの収穫だった竹の子も、四月も下旬になると徐々に竹の子の出でくる数も増えていきました。竹の子掘りは意外に難しく、コツが必要なので、新しいメンバーは、なかなかコツがつかめず、悪戦苦闘の末に、売り物にならない状態になってしまっていました。それでも5月まで毎日続く竹の子掘りの中、だんだん上手になっていき、多い日はコンテナ一〇杯もの竹の子が採れ、みんな汗だくになりながらも満足げな笑顔を見せていました。



竹の子水煮製造



朝のうちに収穫した竹の子は、施設に持って帰り、水洗いの後、皮を剥いで半割にし、その日のうちに水煮します。竹の子は、収穫直後から急激にえぐみが増え、固くなっていくので美味しい水煮を作ろうと思えば収穫直後に茹でなければなりません。茹でてあく抜きした竹の子は、流水にさらし、0.5%の酢水で30分ほど茹でそのまま冷まします。それを成型し、計って袋詰めし真空包装します。それを30分加熱殺菌して冷水にさらして急激に冷やすと、3か月常温保存可能な竹の子の水煮が出来上がります。苗の里などに出荷していましたが、使い勝手の良さや値段の安さで多い日は1日で40袋以上が売れ、いくら作っても追いつかない状態で、うれしい悲鳴を上げていました。

Qネット歩こう走ろう 2012

4月28日(土)、西原村再春館パークにて「Qネット笑顔で歩こう走ろう2012」が開かれました。2年前より参加させて頂いていましたが、昨年は雨天のため中止になりました。400食の焼きそばの材料が無駄になってしまいました。リベンジをかけた今年、晴天に恵まれ、絶好のジョギング日和となりました。毎年、6000人以上の方がお見えになり、ゲストには、オリンピック金メダリストの高橋尚子さんや萩原次晴さんなど有名人が参加者と一緒に走ってくれます。大会会場では沢山の露店が並び、どこも行列ができていました。たんぽぽハウスのテントも行列ができて用意した目玉焼き付焼きそば400食ほぼ完売の大盛況でした。



高遊窯イベントコンサート



4月29日(日)、西原村にある窯元「高遊窯」において、今回で6回目となるイベントコンサートが開かれました。毎年、ゴールデンウイークのこの期間、西原村の窯元による「合同窯開き」が開かれ、そのオープニングを飾るイベントとなっています。窯開きを待ち望んでいたファンとイベントファンとで毎年沢山の方がお見えになられ、裏庭に作られた自然の地形を生かした特設会場には、200人以上の方が詰め掛けました。たんぽぽハウスも毎年声を掛けて頂き、お好み焼き・コロッケ・五目稲荷・飲み物などを販売させて頂き、常連のお客さんからよく声を掛けて頂くようになりました。木漏れ日とそよ風が心地よい森林の中のコンサートは、心癒されるひと時でした。

落花花生種まき

5月5日(土)、落花花生の種蒔きをしました。ゴールデンウイーク期間中でしたが、物産館などでの販売が多くなった為、書入れ時を逃すまいと、休日出勤にしていました。物産館への納品を終え、遅れていた農作業に着手しました。祝日だったこの日は、地元中学生が2人遊びに来たので、落花花生の種蒔きの手伝いをお願いすると喜んで引き受けてくれました。農薬や化学肥料を使わず、ビニールマルチも使用しない為、30cmごとに穴を開けていき、筒を通して一粒ずつ穴に落としていきます。意外に器用にこなす中学生と、慣れて上手になった仲間たちとで、約3反の畑の種蒔きを終わらせました。ここで蒔いた落花花生は、「おまさり」という通常の落花花生の約2倍もあり、甘みの強い品種で主に塩ゆで落花花生としてこの秋出荷の予定です。



夏祭り・各種イベント露店承ります！



たんぼぼハウスでは、各地区の夏祭り、各種イベントなど地域の皆様にお声を掛けて頂き、出店させて頂いております。お好み焼き・焼きそば・イカ焼き・たこ焼き・ホットドッグ・手作りコロッケ・五目稲荷・おにぎり・焼き鳥・かき氷・芋天・特製たんぼぼカレー・ホルモン煮込み・若鳥の唐揚げ・ちらし寿司・ピザ・おでんなど、ご要望に応じ様々な用意させて頂いております。イベント参加の目的といたしまして、仲間たちと地域の皆様との交流を通して社会性を身に着け、自立への一歩を踏み出すこと。また、仲間達を知ってもらうことで差別や偏見を無くしていくこと。仲間達の工賃への還元。何より仲間たちが祭りを盛り上げるために、是非ご協力させて頂きたい。詳しくは、たんぼぼハウスまでお願いいたします。



▲ある日の昼食。美味しい昼食は心も体も元気になります。
(豆腐ハンバーグ・揚げ茄子とオクラの煮浸し・茄子のみそ炒めなど)

たんぼぼな風景 200円ランチ
4月からたんぼぼハウスの昼食を100円から200円に値上げしました。それまでは、お野菜中心の節約料理を作っていました。仲間達からお肉や、お魚も食べたいと要望があり、200円に値上げしました。現在、朝ご飯・お昼ご飯・持ち帰り用の御握りを200円で提供しています。昼食作りは当番制で、4〜5人で15食から多い時は23食分を創ります。当番は朝ミーティングを取ってメニューを決めます。お米やお味噌はたんぼぼで作っていますし、お野菜はいろいろな方から頂きますのであまり買物をせずに済んでいます。仲間たちは、日に日に上手になり、包丁も持った事も無かった仲間たちは、時間はかかるものの今では、茶わん蒸し・豆腐ハンバーグ・だご汁・のっぺ・炊き込みご飯など美味しい料理を作れるようになり、レパートリーも増えてきました。公にはしていませんが、希望される方にも200円で昼食を提供しています。噂を聞きつけ、いろいろな方々が昼食を食べに来られるようになりました。「これで200円！安い！」「すごく美味しい！」とお褒めの言葉をもらおうと、仲間たちはニコニコ笑顔になり、自信にもつながっているようです。



新しい仲間が増えました。

6月29日(金)、たんぼぼハウスに新しい仲間がやってきました。西原村役場住民課が多々良地区に迷い込んだこの犬を保護していました。一週間保護されていましたが、飼い主が現れず、毎日仲間たちが様子を見に行っていたのを知っていた住民課の方からお声が掛り、たんぼぼハウスで引き取ることにしました。一週間、見知らぬ犬小屋に閉じ込められてもほとんど吠えなかった肝っ玉の据わった性格から「小鉄」と名付けました。現在、仲間達の良い散歩係になっています。

編集後記

7月に入り、サマータイム制を導入し、いつもより一時間早い集合となりました。しかし、梅雨がまだ上がりず毎日雨の日が続いています。それでも、毎日送迎車があるにもかかわらず、雨の中、合羽を着て自転車から来る人、傘をさして歩いて来る人、シルバーカーを押してスタッフより早く来る人、早朝新聞配達を終えてから来る人など、頭が下がるほど仕事に対して真摯で実直な仲間達ばかりです。そんな仲間たちのために、スタッフは温かいご飯とお味噌汁で仲間達を迎えています。そんな仲間たちと食べる朝食は、何だかまったりとしていて、心落ち着きます。「梅雨の長雨もまたよし。」そう思える一時です。
(編集委員 久保田)

行事予定	
7月	10日山西小学校農作業応援団 24日兵庫市社協たんぼぼ視察
8月	3日阿蘇ピエントコンサート 4日布田夏祭り 13日萌の里夏祭り 18日高遊夏祭り 25日西原村夏祭り 26日24時間TV 西原村夏祭り
9月	1日万徳夏祭り みどりの館敬老秋祭り